

報告第1号

平成26年度基礎学力調査の結果

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況、及び学習・生活状況について把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の改善を図る。併せて、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし、調査の集計・分析については、各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施校数	219校	221校	87校
実施児童生徒数	9,786人	10,165人	10,328人
対象教科	国語・算数	社会・理科	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施児童生徒数	4,717人	5,191人	2,713人
調査の内容	学習に対する意識や家庭学習，生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校における教員を対象に調査した。

区分	小学校	中学校
実施校数	74校	31校
実施教員数	1,113人	656人
調査の内容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

平成26年4月21日（月）

区分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1限	国語（40分）	社会（40分）	社会（45分）
	2限	算数（40分）	理科（40分）	理科（45分）
	3限			英語（45分）
質問紙調査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

4 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査結果

項目	小学校第4学年		小学校第6学年		中学校第3学年		
	国語	算数	社会	理科	社会	理科	英語
平均正答数[問]	18.8 / 28	14.7 / 22	22.5 / 31	17.5 / 25	19.4 / 33	16.1 / 32	20.0 / 32
平均正答率[%]	67.3	66.7	72.5	70.0	58.9	50.4	62.6

《参考 平成25年度基礎学力調査 教科に関する調査結果より》

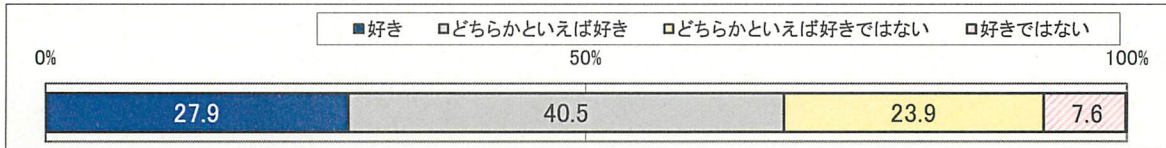
項目	小学校第4学年		小学校第6学年		中学校第3学年		
	国語	算数	社会	理科	社会	理科	英語
平均正答数[問]	20.8 / 28	15.6 / 23	20.3 / 31	18.2 / 26	15.9 / 33	15.6 / 31	18.4 / 32
平均正答率[%]	74.4	67.9	65.4	70.1	48.3	50.2	57.4

(2) 質問紙調査結果

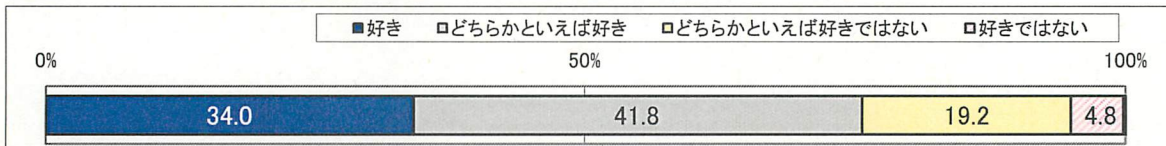
《小学校第4学年》

1 学習に対する関心・意欲・態度

○ 自分の考えを公表したり、話し合ったりすること

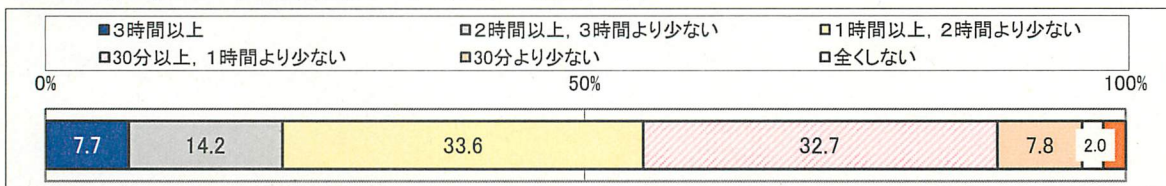


○ 課題について、自分で考えた方法で調べたり確かめたりしながら勉強すること

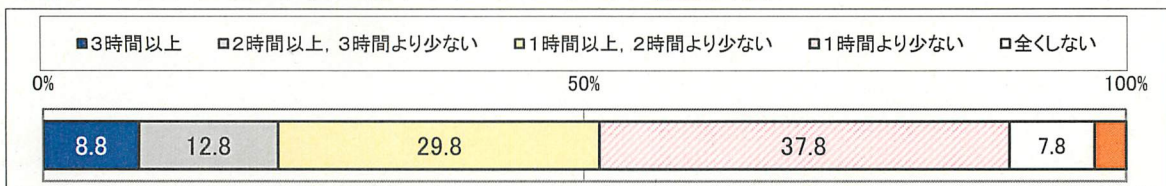


2 家庭学習習慣

○ ふだん(月曜日から金曜日)の1日あたりの勉強時間



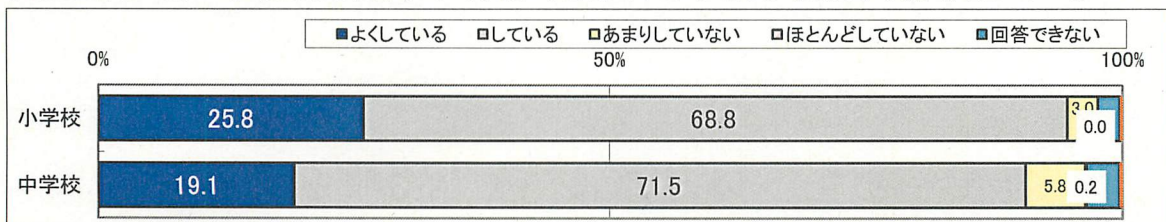
○ 土曜日や日曜日など学校が休みの日の1日あたりの勉強時間



《小中学校教員》

3 教科等に関する指導

○ 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしている



○ 児童生徒の発言の機会や活動の時間を確保して、学び合う場を設けている

